

町田二中だより

令和6年度 第3号



令和6年6月28日 発行

昭和32年開校

町田市立町田第二中学校

校長 高橋 健志

〒194-0031 町田市南大谷1327
HP URL <http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida2/>

Tel 042(722)1101
Fax 042(721)4399



みんなで頑張る

校長 高橋 健志

新しい学年が始まり、3カ月が経ちました。1年生にとっては初めての期末考査があり、朝読書の時間に朝学習をしている生徒も多くいました。全体が学習に向かう雰囲気づくりはとても大切で、みんなで頑張ろうという姿勢は、本校の良いところだと思っています。

6月1日には、体育祭が行われ、まさに「みんなで頑張る」日になりました。特に、本校の伝統である、全学級が行うチームジャンプ（大縄跳び）では、各学級がベストを尽くし、2年生がレベルの高さを見せた後、3年生には大記録が生まれました。このチームジャンプは、体育や昼休みの練習の様子からも、日ごとの上達が分かり、努力することの大切さを練習期間中に改めて感じました。また、3年生の最後の体育祭にかける意気込みが、1・2年生を引っ張り、当日、縦割りの色別の応援でも、リーダーシップを発揮してくれました。

この大きな行事で、誰か一人だけが頑張ったわけではなく、みんながいたから自分も頑張れた、という集団の力の素晴らしさを感じた生徒も多かったと思います。良い1日になりました。そして、保護者の皆様には、励ましや準備、当日の応援やボランティア等でも大変お世話になりました。今後ともご支援ご協力をたまわりますようよろしくお願いいたします。

町田第二中学校 第67回 体育祭 「四刀流 ～あきらめるのをやめましょう～」



今年の体育祭は晴天に恵まれ、6月1日（土）に実施しました。熱中症予防のため、生徒の応援席や係席には、高ヶ坂小学校からお借りしたテントの他にPTAが購入したテントも用意し、こまめな水分補給も指示して取り組みました。早朝からの準備も生徒の活躍があってスムーズに進み、予定通り体育祭開会式のスタートです。

午前は障害物競争・学級対抗リレー・全員リレー・色別対抗綱引きを行い、午後は学年種目（1年：いかだ流し、2年：ハリケーン、3年：むかで競争）・チームジャンプ・色別対抗リレーを行いました。リレーではバトンを落としたり転んだりして順位が入れ替わったり、チームジャンプでは引っ掛かって焦ったり、綱引きでは1位になった緑組対教職員というサプライズを実施したりしながら、競技が進んでいきました。

多くの保護者や地域の方のご来校をいただきました。体育祭までの洗濯やお弁当づくりなど、本当にご協力ありがとうございました。生徒たちは、日頃の成果を発揮し、充実した一日を無事に終えることができました。

また、PTAの皆様、保護者ボランティアサポーターの皆様、様々なご準備ありがとうございました。久しぶりの体育祭ボランティアとなったため、臨機応変に対応しながらの活動でしたが、ボランティアサポーターの活動には感謝しております。体育祭の運営には保護者の皆様のご協力が必要となります。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、生徒の皆さん、素晴らしい体育祭になりましたね。お疲れ様でした。ここで知っておいてほしいことは、生徒の頑張りだけでは体育祭は成り立たないということです。保護者の方や近隣住民の方々の協力などがあっての体育祭だということを、これからも忘れないでください。



第1回進路説明会



6月11日(火)に、3年生とその保護者を対象に進路説明会が行われました。上級学校の種類、進路関係の重要な提出物、上級学校で何を学びたいのかをよく考えて学校を選ぶこと、学校説明会への参加、中学校英語スピーキングテスト(E S A T-J)などの保護者や生徒がこれから心掛けていくことの説明があり、町田第二中学校の推薦基準を改めて認識し、3年生としての意識がより高まる時間となりました。

いじめ問題学習会



6月12日(水)3校時に、『こども六法』の著者でもある山崎聡一郎さんを講師にお招きし、いじめ問題学習会を実施しました。

講師自身の被害体験や加害体験を交えながらいじめのメカニズムについてお話があり、いじめがなくなる理由として、「①周りから見ていじめを認識するのは難しいから、②自分の行為をいじめだと認識するのも難しいから」を挙げられ、いじめを認める強さを身に付けて欲しいというお話がありました。

また、いじめの加害者になったと分かった時には、まず、いじめをやめ、相手と距離をとること、大人に相談すること。いじめの被害者になった時には、日記を5W1Hで書いておくことよい、壊された物など証拠を揃えておくこと、専門家に相談すること。などの話があり、いじめが起きた時にどうするべきかについて考える機会となりました。

セーフティ教室

6月13日(木)6校時、全校生徒を対象としてセーフティ教室が行われました。お子さんを交通事故で亡くされた佐藤清志さんを講師にお招きして、交通事故は犯罪であること、青信号を渡っていても事故に遭うこと、自転車に乗っている時にもクルマと同じ配慮が必要、交通事故が0件という日はほとんどない、などのお話があり、最後に「自分の命は自分だけのものと思わないで欲しい。周りにいる大切な人のために生き抜くのだと考えてください」とお話されました。



道徳授業地区公開講座(いじめに関する授業) 6月15日(土)

- ・1年「裏庭での出来事」…主人公の健二、雄一、大輔の3人は裏庭で物置の窓ガラスを2枚割ってしまう。大輔が先生に割った理由をごまかしたことで健二は悩み始める。悩んだ末に自ら結論を出した健二の姿から、誠実な生き方とは、ごまかせるかも知れないという心の弱さに打ち克ち逃げない心や自分の誇りを大切にしたい生き方であるということを考えさせる。
- ・2年「旗」…少女は転校後まもなく交通事故に遭い、自宅療養中窓から見えるレモン色の旗を友達のように思っていた。ある日クラスメイトがクラス旗を作るため布きれをもらいに少女の家を訪れ、少女は旗ばかり見ていることを打ち明ける。登校前日レモン色の旗のある場所にクラス旗を発見、真ん中に少女が渡した布が縫い付けてあった。互いに他を思いやる心情を考えさせる。
- ・3年「卒業文集 最後の二行」…「私」が小学校6年生の時のもので、クラスメイトT子がいじめたことを後悔する気持ちが描かれている。T子の貧しさや身なり、先生に告げ口をしないことで仲間と差別し、いじめてきた。T子の書いた卒業文集の最後の二行でT子の深い苦悩を知り深く反省する。被害者側の苦しみも加害者側の心の変化についても考えさせる。
- ・協議会…各学年のグループに分かれ、授業者からは自評、保護者や学校運営協議会委員からは感想や意見をいただきました。学校では、「いじめに関する授業」「hyper-QU」「心のアンケート」を実施し、全教職員でいじめに悩む生徒の救済に努めていきます。

学習支援教室

今年度の学習支援教室は年間22回行われます。中間・期末考査の初日に行われることが多いので、この機会に分からないところを克服してみたいかでしょうか。時々ホームページでも様子を公開しています。希望する生徒は、担任の先生に連絡してください。